

[畜産部門 令和7年度 普及に移す研究成果]

事項名	オーチャードグラスの奨励品種「きよは」の特性		
ねらい	本県に適するオーチャードグラスの品種（中生）を選定するため、公的育成品種の生育特性及び収量性を検討した結果、「きよは」が既存の奨励品種と比較して、生育特性及び収量性が同等で優れることが明らかになったので、奨励品種として普及に移す。		
内容	<p>1 来歴 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構が育成した品種である。種子は令和7年秋販売予定である。</p> <p>2 主な特性（標準品種「まきばたろう」との比較）</p> <p>(1) 発芽の良否：同程度である。 (2) 定着時草勢：やや優れる。 (3) 越冬性：同程度である。 (4) 早春の草勢：同程度である。 (5) 出穂始期：3日遅い。 (6) 越夏性：同程度である。 (7) 秋の草勢、秋の被度：同程度である。 (8) 倒伏の発生：同程度である。 (9) 病害程度：同程度である。 (10) 収量性：同程度である。 (11) 早晩性：中生品種である。</p>		
期待される効果	粗飼料の安定生産に資する。		
普及上の注意事項	なし		
問合せ先（電話番号）	畜産研究所 酪農飼料環境部 (0175-64-2791)	対象地域 及び経営体	県内全域の養牛 農家等
発表文献等	なし		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 「きよは（那系29号）」の生育特性

（平成28～令和元年 青森畜産研）

形質	選定品種	標準品種	備考 (評価法等)
	きよは（那系29号）	まきばたろう	
発芽の良否	5.0	5.0	1（極不良）～9（極良）
定着時の草勢	6.8	6.3	〃
越冬の草性	5.7	5.7	〃
早春の草勢	6.3	6.1	〃
出穂始日	5月23日	5月20日	
越冬の草性	6.0	5.6	1（極不良）～9（極良）
秋の草勢	6.2	5.8	〃
秋の被度	61.0	62.0	%
草丈（1番草）	93	98	cm
草丈（2番草）	83	83	〃
草丈（3番草）	92	91	〃
草丈（4番草）	79	78	〃
倒伏程度	2.9	3.0	1（無・微減）～9（甚）
病害程度	2.7	3.0	〃

- (注) 1 発芽の良否及び定着時草勢は平成28年秋の調査。
 2 秋の被度は令和元年の値。
 3 1及び2以外の形質は平成29～令和元年の3か年平均。

表2 利用年次別の乾物収量 (kg/10a)

（平成29～令和元年 青森畜産研）

品種・系統名	利用1年目（平成29年）					利用2年目（平成30年）					利用3年目（令和元年）					3か年平均 年間計
	1番草	2番草	3番草	4番草	年間計	1番草	2番草	3番草	4番草	年間計	1番草	2番草	3番草	4番草	年間計	
きよは（那系29号）	355	254	132	208	949 (103)	383	243	276	219	1,120 (103)	335	264	258	236	1,094 (101)	1,054 (102)
まきばたろう（標）	354	231	138	196	919 (100)	408	222	239	215	1,085 (100)	344	259	241	241	1,085 (100)	1,029 (100)

(注) () 内数字は標準品種を100とした指数。

耕種概要

- 試験場所 畜産研究所内圃場
- 播種期、播種方法及び播種量 平成28年9月16日、散播、3.0kg/10a
- 施肥量

- (1) 土壌改良資材及び基肥（10a当たり）
 苦土炭カル：pH6.5 矯正量(改良深度15cm)
 ようりん：20%ようりん 125kg
 基肥：N-P₂O₅-K₂O=5-5-5kg

- (2) 追肥量 (kg/10a)

区分	利用1年目			利用2年目以降		
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
早春	7.5	5.0	5.0	10.0	7.5	7.5
1番草刈取後	4.5	3.0	3.0	6.0	4.5	4.5
2番草刈取後	3.0	2.0	2.0	4.0	3.0	3.0
年間計	15.0	10.0	10.0	20.0	15.0	15.0

- 刈取期 1番草：標準品種の出穂期
 再生草：標準品種の草丈が概ね80cmに達した時点で一斉刈り